

旭ヶ丘

学園だより

No.11

編集・発行

高知高等学校

高知高等学校 PTA

令和元年7月19日発行

響け鐘の音

羽ばたけ未来へ

学園創立120周年



学校長 森 暁

元号が平成から令和に移った本年度、私どもの高知中学高等学校は、学園創立120周年を迎えました。人生に例えるならば、明治の時代から還暦60年を二めぐりするという長い時間を通して、本県の子どもたちの育成に果たしてきた役割には大きなものがあると考えるところです。この長い道のりを応援し支えてくださった県民の皆様や先輩諸氏に、また、OB・OGの皆様に感謝の念を禁じえません。この歴史に次なる年輪を重ねるべく、教職員一同、一歩一歩努力を重ねてまいりる所存ですので、ご支援をよろしくお願いいたします。

このたびは、本学園の歴史について、簡単に振り返ってみましたと思います。どうぞお付き合ってください。本学園は、明治32年4月、信清権馬先生が高知市中新町に創立された「江陽学舎」に始まります。明治39年には、北新町に移転し、大正3年には「江陽学校」と改称します。当時は師範学校予備校として名声を確立するとともに、時代の要請が高かった商業科を併設、この商業科が大正8年に「城東商業学校」として看板となっていくこととなります。社会が大きく変化する時代を迎え、荒波にもまれながらも、理念を高く掲げ、その礎が築かれてまいりました。

を現在に続く「高知中学校」「高知高等学校」に改称されること、昭和32年に現在の地「旭ヶ丘」に学園の移転を果たすのです。その建学の理念には既に、現代のグローバルな世界への変化が読み込まれています。その代表が「世界の鐘」です。世界各國に世界の平和と友愛を込めて銅貨（コイン）の寄贈を呼びかけ、25カ国、85校から寄せられたコインを鑄込んでできあがったものです。鐘の胴にはそれらの硬貨が飾られ、次の銘が謳われています。

この鐘の音の

とどろくところ

永遠の真理と

希望にかがやき

世界の平和と

友愛にみつ

また、併設した高知小学校にはいち早く英語教育を導入、高

知中学・高等学校には科学教育を重視した布陣や授業を展開するなど、現代にも通じる実践がすでに行われております。

『川島源司伝』や『創立85周年記念誌』からは、先生ご自身が建設適地を求めて自転車駆って各所を回った話から、共鳴して集まった先生方の寝食を共にしたご苦労など、当時の先生方の新しい学校設立に向けた熱い思いが伝わってまいります。

時代は下って、創立120周年の今日までの間に卒業生は2万4千人を数え、この校友の皆様の各界でのご活躍によりまして、輝かしい伝統と独自の校風を築いてまいりました。

本年度は、こうした長い歴史の営みに改めて思いをはせ、次なる躍進に向けて、学校法人「高知学園」として祝賀の記念事業を展開することとしております。

ここでは、高知中学高等学校関係の記念行事をご紹介します。

- ① 8月9日（金）吹奏楽部記念コンサート（かるぽーと）
- ② 9月25日（水）探検家阿部雅龍氏による記念講演会（本校体育館）
- ③ 11月16日（土）東海大相模高校との記念招待野球（高知球場）
- ④ 11月23日（土）軽音楽部記

念演奏会（ベイ5スクエア）
⑤ 12月1日（日）記念式典・祝賀会（本校体育館・ホテル日航高知旭ロイヤル）

また、120周年に合わせて、「たちばな未来創造募金」という名称で、寄付をつのることにいたしました。これは、建学の精神である「人に信頼される人材の育成」に邁進すべく、人材育成のための修学支援や施設設備の整備充実、スポーツ・文化活動の振興といった教育環境の整備に活用させていただこうとするものです。趣旨をご理解いただき、ご支援をよろしく願います。

さて先ほどご紹介した世界の鐘の銘ですが、私は、この銘にちりばめられた「真理」「希望」「世界」「平和」「友愛」の五つのキーワードが、生徒の皆さんの心に鑄込まれるならば、これに勝る人生の礎はないと考えます。この言葉の上に、本校の教育理念「人に信頼される人物の育成」が呼応しております。今こそ初心を大切に、学ぶことへの挑戦を怠ることなく、文武両道の道をしっかりと歩むことが求められていると心得ております。教職員一同、高知中学高等学校の次なる発展に向けて、誠心誠意取り組んでまいります。

報恩感謝「未来にむけて」



高知中学高等学校PTA会長
細川洋伸

はじめに

1899年、明治32年4月黒潮かおる自由の土佐に「人に信頼される人材の育成」の理念のもとこの学校は創立しました。その長い歴史の中には大きな戦禍や震災等、決して平坦な道のりばかりではなく、幾多の困難、受難をその時々、若さと力で乗り越えてきたのではないのでしょうか。

そのような中で、多くの諸先輩方が崇高な学校理念の元、この学校を愛し育んでこられた事が、まさに近代日本の歴史と共に歩みを進め、その歴史の礎を作ってきたのです。

そのような熱い志を次の世代に引き継ぐ事が現在を生きる私

達に託された課題であるように思います。

報恩感謝

「報恩」という言葉があります。私達は生まれた時から様々な人に助けられ生きています。朝、目が覚めると温かいご飯があり、蛇口をひねると綺麗な水が出てきます、たわいもない現代社会の日常のシーンであり、「当たり前」の事かもしれないかもしれません。ですがそれは多くの人の手や労作によって出来たものであり、実は「当たり前」ではなく「恩」であると云う事を私も含め多くの方が忘れているような気がします。

また、120年を迎えるこの学校においても、同じような事が言えると思います学校があることが「当たり前」な事ではなく、創業者の熱い思い、それを継続されてきた関係者様、多くの卒業生の一人一人の血の滲むような思いの積み重ねで、現在の

「学校」があるという事を皆様と共に感じたいと思います。

そして、その「当たり前」の日常に対し深い「感謝」と「恩」を感じ「恩返し」の精神を持って皆様と一緒にこの時を生きて行きたいと思います。

未来にむけて

現代社会は先人達の多くの努力によって「豊か」になってきました。

温かいご飯が食べられるのも当たり前、学校があるのも当たり前、そんな当たり前の日常が溢れかえっている現在において「感謝」や「恩に報いる」等の言葉や思いは過去の言葉になっているように感じます。

また、個人が尊重される風潮の中で、本来私達にあった帰属意識が失われつつあり、自分さえ良ければ良い等の利己主義、個性的が格好いような事では、今から待ち受ける多くの受難、困難には立ち向かえないような気がしてなりません。

今一度、学校教育の礎でもある、理念や橘の校章、校歌や世界の鐘等の意味を「未来にむけ

て」深く読み解く必要があると思います。

【事業内容】

・120周年事業「学園の泉計画」
高知中高は高知市の指定避難所にも選定されており、生徒はもとより、多くの一般避難者が集まってくる事が予想されています。十分な物資の確保と迅速な行動、そして知識が必要と同時に、命の源でもある「水」の確保の取り組みをします。

・学校行事に対する積極的な参加と保護者との交流
学園祭やバザー、三者協力会、支部会など学校で行われる行事へ積極的に参加することで、生徒たちや先生方との交流が生まれ、更なる学校の教育活動への一助となる。

・新入生増加に向けた取り組み

昨今の少子化の問題における生徒減少問題を学校側だけに任せるのではなく、我々PTAも自分たちの問題として捉え、能動的に行動していきます。

結びに

学校とは、様々な年代の時間軸によって形成されている場所であると考えています。

ふとした瞬間に思い出す青春の日々・・・、現在を生きるはずらつとした生徒達、そのような過去、現在、そして未来を結ぶ場所それが「母校」といわれる場所ではないでしょうか？

卒業生には「若き日の誇り」を、在校生には「かがやく希望」を、そして未来生には「あこがれの夢」を愛し育んでいただける学校にすると心に誓い私の所信といたします。



進路・特進部

今春卒業生の進路状況

今春の本校卒業生の進路状況は、四年制大学進学六三・七％（全国二〇一八年度約五三％）と全国の約一・二倍、短大進学は九・五％（同約四・六％）、と全国の約二倍で、昨年の六四％の約一・五倍でした。これは学短進学者が一三名から一六名に増えたことが影響しています。専門学校進学一四・四％（同約一・六％）、就職六・五％（同約一・七・五％）、その他（各種学校・浪人・未定）六％（同約六％）でした。これは今年度より高知リハビリテーション学院が専門職大学となり、進学した二〇名が大学進学者に算入されていることが大きく影響しています。

国公立大学へは、十一名が合格しました。昨年より二名多く、平成二十四年（十一名）以来六年ぶりに二桁にのりました。高知大学へは五名が推薦入試で、高知工科大学へはAO入試で四名、推薦入試で一名が合格しました。県外大学では昨年度は香川大、愛媛大、山口大など四名が合格しましたが、今年は下関市立大に中期日程で一名が合格しました。

おもな私立大学は、明治大一名、中央大一名、法政大一名、関西学院大一名、関西大一名、東洋大三名、駒澤大一名、京都産業大三名が合格しました。詳しくは、平成三十一年度入試学合格者のべ数（既卒含む）をご覧ください。

五月時点で四年制大学希望が約六五％、短大希望が約八％、専門学校希望が約一四％、就職希望約七％、未定約六％とほぼ昨年とかわらない希望となっています。

高知リハビリテーション専門職大学入試

高知リハビリテーション学院との連携教育であるフェロシップ参加者を対象とした高知高校特別入試（通称「フェロシップ入試」）が導入されて今年で八年目です。過去七年間の進学者数に対してこの入試での進学者数を見ると、一年目一九人中八人、二年目は三一人中一人、三年目は八一人中一人、四年目は二〇人中一人、五年目は二一人中五人、六年目は一五人中七人、七年目は二十名中一〇名となっており、ほぼ毎年半数以上の進学者がこの制度を利用しています。受験者全員が合格するとは限りませんが、高知率で合格しています。

平成三十一年四月に、高知リハビリテーション学院が「高知リハビリテーション専門職大学」にかわりました。それに伴い高知高校特別入試はAO方式入試（C）となりました。

オープンキャンパスへの参加

オープンキャンパスとは、大学、短大、専門学校が施設を開放して、学校を詳しく知ってもらうためのイベントです。一年中開催されていますが、多くが夏休みに開催されます。施設を見学できるだけでなく、模擬授業や在校生との交流など、実際の学校生活をイメージしやすい企画があったり、学校によって過去の問などの入試情報が配布

されていることもあります。学校のパンフレットやホームページを見て開校期間・開校時間を確認しましょう。ほとんどの学校で高三生だけでなく高一・二生からでも参加可能です。早いうちから学校の雰囲気を感じ、実際の授業などを体験すること、今後の進路選びの参考になるのでお勧めです。また、日程等が合わない場合は、平日に

進学先の推移

卒業年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
国公立	5	9	11	6	9	6	6	9	11
私立大(高知リハ)	93	104	111	91	99	99	66	107	117(20)
短大(学短)	20(14)	18(15)	28(22)	20(15)	21(16)	7(7)	20(19)	13(13)	19(16)
専門学校	72(26)	61(18)	55(19)	74(31)	68(18)	67(20)	37(12)	49(14)	29
各種学校	6	4	4	14	4	3	6	9	5
就職	17	7	19	8	9	3	8	8	13
その他	27	22	19	18	15	18	13	7	7
卒業生	240	225	247	231	225	203	156	202	201

平成31年度入試 大学合格者のべ数(既卒含む)

高知大学	5	名古屋外国語大学	3	姫路獨協大学	1
下関市立大学	1	中京学院大学	1	兵庫大学	1
高知工科大学	5	京都橘大学	1	岡山学院大学	1
酪農学園大学	1	京都産業大学	3	岡山理科大学	10
上武大学	1	京都先端科学大学	1	くらしき作陽大学	1
埼玉工業大学	2	明治国際医療大学	1	環太平洋大学	4
城西国際大学	2	関西大学	1	吉備国際大学	4
千葉工業大学	1	阪南大学	1	就実大学	1
中央学院大学	1	森ノ宮医療大学	1	倉敷芸術科学大学	3
亜細亜大学	3	大阪芸術大学	1	美作大学	1
駒澤大学	1	大阪産業大学	6	広島国際大学	2
国士舘大学	1	大阪商業大学	1	広島修道大学	1
中央大学	1	大阪学院大学	1	福山大学	1
帝京平成大学	1	大阪青山大学	1	四国大学	1
東京経済大学	1	大阪大谷大学	1	徳島文理大学	11
東京女子体育大学	1	大阪電気通信大学	1	高松大学	1
東洋大学	3	追手門学院大学	1	四国学院大学	2
法政大学	1	桃山学院大学	2	松山大学	7
明治大学	1	関西学院大学	1	高知リハビリテーション専門職大学	21
神奈川工科大学	2	関西外国語大学	1	久留米工業大学	1
神奈川大学	2	神戸医療福祉大学	1	西日本工業大学	3
東海大学	2	神戸学院大学	3	帝京大学	1
岐阜経済大学	1	神戸国際大学	4		

行ってみましょう。普段の学校の雰囲気を知ることができ、高知リハビリテーション専門職大学

七月二一日、八月一七日、八月二五日

※その他日程もあり

○高知学園短期大学
七月二一日、八月一八日

※その他日程もあり

○高知工科大学
七月二七日、二八日

○高知県立大学
七月二八日

○高知大学
八月三日・四日

夏休み中の進路に関する行事

夏休みには進路に関する行事もたくさん計画されています。夏休みが高三生にとって重要なのはもちろんですが、高一・二

生にとっても重要です。この夏休みには、積極的に補習や学校見学、勉強会等に参加し、自分の進路について考える機会を持ちましょう。

○補習前期A
七月二二日～二六日

○補習前期B
七月二九日～八月二日

○県外大学オープンキャンパス見学
八月三日・四日（一泊二日）

○補習中期
八月五日～九日

○補習後期
八月一六日～二〇日

○高三全統マーク模試
八月一〇日・一一日

○夏期勉強会（かんぱの宿伊野）
八月二一日～二三日（二泊三日）

「目指せ甲子園！」

吹奏楽部がお昼に行っている
LTM（ランチタイムミュージック）。

今回はダンス部と一緒に、野球部の応援編をお送りしました。窓から沢山の人も見てくれて、大いに盛り上がりました。この勢いで、ぜひ甲子園に出場してください！



幼稚園・小学校・中学校・高校合同避難訓練

六月十日（月）三時間目を使い幼稚園～高校までの合同避難訓練を実施しました。

千三百名余りが災害発生の放送の後一斉に中高グラウンドに

集合しました。常時に何が起こるか想定できず、合同での訓練は高知学園だからこそやっておくべきことだと改めて認識できました。



全国弓道選抜大会を振り返って

大前(二番)福永 光起

弓道競技は、28メートルの距離にある36センチの的に向かって矢を飛ばし、的に当てる競技であるが、試合では、わずか一人4本しか引けず(練習では毎日100本程度)、いかに普段練習してきたことを冷静に試合に出すかが大事です。入部当初は、基礎練習ばかりで、弱音を吐くこともありませんでしたが、練習を怠ることなく継続してきた結果が今回の準優勝につながったと思います。

中立(二番)岡本 大洋

1年生の時に選抜大会に出場し、自分の失敗で予選落ちしたことが悔しくて、大会以後、次も

この大会に出て結果を残すことを目標にし、毎日の練習を続けてきました。顧問の比山先生や中邑コーチのアドバイスをもとに、リベンジすることができたのがうれしかったです。

落ち(三番)横田 和真

大会が近づくと、大会を想定して、試合形式で行い、目標的に達しなければ、坂ランニングを繰り返して、大会直前まで走っていた。目的も、規定のものよりも小さくて、なかなか当たらずにいらする毎日が続いたが、大会では、のびのびと試合をすることができた。勝負の1本を決めることができて良かったです。



「中高女子バレーボール部」

こんにちは。中学校教諭の日高安弘です。よろしくお願ひします。

担当教科の「技術」では、「ものづくり」を通して「つくる喜び」を伝えながら生徒に接し、生徒とともに奮闘しています。

部活動では、「中高女子バレーボール部」の顧問として生徒たちに関わっています。今回、高知県総合体育大会で1・2年生のチームでありながら「初優勝」という栄誉を手にすることができました。生徒たちも勉強と部活動を両立させながら、日々の練習に真摯な姿勢で取り組み、県外遠征では力をつけてきました。そして、「優勝」という戦績を残すことができました。その陰には、保護者の皆様のご協力があったからだと感謝しています。

7月24日から全国高校総体育大会が宮崎県で開催されます。1つでも多く試合をすることができ、良い結果を残せるように力を尽くしたいと考えています。そして、「伝統のある部活」にしていきたいと思っています。これからも応援をお願いいたします。



令和元年度四国高校総体結果

【団体】

優勝 男子バレーボール部(3年連続3度目)
男子サッカー部(17年ぶり2度目)

準優勝 男子柔道部

3 位 女子体操部
女子バレーボール部
女子サッカー部
男子陸上部 フィールドの部

【個人】

優勝 陸上部
やり投 榮枝

3 位 陸上部
男子やり投 岡村
女子やり投 西野
男子砲丸投 榮枝

柔道部
男子66kg級 浅川
男子73kg級 山本
男子81kg級 鎌田



令和元年度高知高校県体成績

【団体】

7 団体優勝

優勝 男子サッカー 7年ぶり15度目
女子サッカー 初優勝
男子バレーボール 3年連続18度目
女子バレーボール 初優勝
男子体操 2年ぶり30度目
女子体操 6年連続17度目
男子剣道 3年連続33度目

準優勝 男子弓道
女子剣道
男子柔道
男子テニス

第72回高知県高等学校体育大会(高知高校関係の主な成績)

陸上 部

男子1500m	2位	吉川
男子ハンマー投	2位	奥宮
男子砲丸投	優勝	栄枝
男子砲丸投	3位	奥宮
男子やり投	優勝(県高新)	栄枝
男子やり投	3位	岡村
女子ハンマー投	優勝	西野
女子やり投	2位	西野
女子走り幅跳	3位	日浦
女子三段跳	2位	日浦
女子砲丸投	優勝	西野
女子400mリレー	3位	
学校対抗 女子フィールド	優勝	
学校対抗 男子フィールド	3位	

体 操 部

男子団体優勝 優勝(2年ぶり30度目)

女子団体優勝 優勝(6年連続17度目)

女子個人総合 優勝 ウヤル

同2位 原田

同3位 横山

男子個人総合 2位 山本

同3位 岡村

新体操

女子個人総合 2位 西田

バスケット部

男子1回戦 対城山 ○127-14

男子2回戦 対高知工 ●43-80

女子2回戦 対学芸 ○63-52

女子3回戦 対市商 ●49-96

バレーボール部

男子

準々決勝 対高知工 ○2-0

準決勝 対学芸 ○2-0

決勝 対高知商 ○3-1 優勝(3年連続18度目)

女子

2回戦 対岡豊 ○2-0

準々決勝 対中央 ○2-0

準決勝 対南 ○2-1

決勝 対土佐女子 ○3-2 優勝(初)

剣 道 部

男子団体2回戦 対西 ○4-0

同準々決勝 対高知工 ○1-0

同準決勝 対土佐塾 ○1-1(代表戦)

同決勝 対明德義塾 ○1-1(ポイント5-4)優勝(3年連続33度目)

女子団体準々決勝 対中央 ○4-0

同準決勝 対土佐塾 ○3-0

同決勝 対明德義塾 ●0-0(代表戦)準優勝

男子個人 優勝 中島

男子個人 2位 東野

女子個人 優勝 木下

女子個人 2位 塩見

柔 道 部

男子団体決勝トーナメント

同1回戦 対土佐 ○5-0

同決勝 対岡豊 ●2-3 準優勝

女子団体決勝トーナメント

同1回戦 対岡豊 ●0-3

男子66kg級 優勝 浅川

男子73kg級 2位 鎌倉

男子81kg級 優勝 鎌田

男子90kg級 2位 山中

男子100kg級 2位 細川

女子48kg級 2位 大黒

女子52kg級 2位 片田

サッカー部

男子

準々決勝 対小津 ○2-0

準決勝 対岡豊 ○4-1

決勝 対中央 ○1-0 優勝(7年ぶり15度目)

女子

決勝 対市商 ○5-1 優勝(初)

弓 部

男子団体決勝リーグ2位 4勝1敗 準優勝

男子個人 優勝 森本

男子個人 2位 福永

男子個人 3位 横田

テニス部

男子団体2回戦 対岡豊 ○3-0

準々決勝 対高専 ○2-0

準決勝 対学芸 ○2-0

決勝 対土佐 ●1-2 準優勝

女子団体準々決勝 対須崎総合 ○3-0

準決勝 対土佐女 ●0-3

男子シングルス 優勝 西原

同 準優勝乙部

男子ダブルス 優勝 西原・秋山

同 3位市川・乙部

空手道部

女子個人組手2位大崎 ●2-3

ライフル射撃部

男子10mAIR立射60発個人 優勝 浦田

野 球 部

1回戦 対高知南 ○3-1

準々決勝 対土佐 ○11-1

準決勝 対市商 ●3-6

水 泳 部

1000m自由形 準優勝 濱田

1000m自由形 3位 岡本

1000m平泳ぎ 優勝 安原 大会新

2000m平泳ぎ 優勝 安原

2000m個人メドレー 準優 勝頼田

4000mフリーリレー 準優 勝濱田・頼田・島内・安原

4000mメドレーリレー 準優 勝安原・島内・頼田・濱田

8000mフリーリレー 準優 勝安原・頼田・島内・濱田

